

2024年5月に開店した目黒八雲店(東京都目黒区)



第70期 中間報告書

2024年3月1日～2024年8月31日



株式会社 ライフコーポレーション

「第七次中期経営計画」の取り組みを加速させ、 「お客様からも社会からも従業員からも 信頼される日本一のスーパーマーケット」 を目指します。



代表取締役社長執行役員

岩崎 高治

当期間の状況

株主の皆様には、平素より格別のご支援並びにご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ここに当社第70期中間連結会計期間の概況につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、穏やかな回復基調となりました。一方で、株価・為替の急激な変動、地政学的リスクの高まり、世界経済の不確実性等により、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの事業領域である食品スーパー業界におきましては、所得環境の改善や商品価格の上昇等による収益の押し上げ効果があるものの、慎重な個人消費、業種・業態の垣根を超えた競争の激化、人件費や各種コストの上昇等、企業運営を取り巻く環境は予断を許さない状況です。

「第七次中期経営計画」の取り組み状況

こうした経営環境のもと、当社グループは、経営理念・ビジョン・ライフらしさ宣言の実現に向け2030年度に当社が目指す姿を見据えて、以下の3つを主要テーマとし

2023年度よりスタートした「第七次中期経営計画」に今期も全社を挙げ取り組んでおります。

- ・人への投資～従業員の成長と従業員満足度向上によるモチベーションアップが、第七次中期経営計画を前進させ会社の成長につながるという認識から、人財の成長や働きがいのある職場にするための投資を行います。
- ・同質化競争からの脱却～ライフにしかない「商品」「サービス」に磨きをかけるとともに、お客様とライフがシームレスにつながる便利なお買い物環境の実現に向け「ネット事業」の拡大、スマートフォンで利用できるライフアプリによる情報提供により、お客様に快適なお買い物体験を提供することを目指します。
- ・持続可能で豊かな社会の実現への貢献～「地域のライフライン」として、持続可能で豊かな社会の実現のための取り組み（環境負荷低減、地域社会への貢献等）を実施していきます。

また、人口減少に伴う人手不足やモノ・サービス等の価格上昇によってコストが増大する事業環境下でも2030年度を目指す姿に向けて着実に3つのテーマを含めた経営戦略を推進していくために、生産性の向上とコストの最適化を軸とした「カイゼン」活動に全従業員が自ら取り組んでおります。

第七次中期経営計画に基づく経営戦略推進の具体的な取り組みとしては、3月にBIO-RAL事業本部を立ちあげ、

オーガニック、ローカル、ヘルシー、サステナビリティのコンセプトに沿った「BIO-RAL（ビオラル）」商品を拡大するとともに、「BIO-RAL（ビオラル）」店舗を2店舗新設し、既存店舗の「BIO-RAL（ビオラル）」コーナーを拡充するなど同質化競争からの脱却を着実に推進しております。また、2021年2月から日配品を対象として導入を開始したAI需要予測による発注自動化サービスを生鮮部門の発注にも範囲を広げ、ほぼ全店で稼働する等、作業軽減、業務効率化の取り組みを推進しております。

持続可能で豊かな社会の実現への貢献の取り組みとしては、東京都において子ども食堂への寄贈を7区にまで拡大するとともに、近畿圏では、6月より神戸市内で寄贈開始したことで出店エリアである4府県（大阪府、兵庫県、京都府、奈良県）すべてで実施しております。また、自社加工センターでのバイオガス発電事業などの「持続可能で豊かな社会の実現に貢献する食品廃棄削減のための取り組み」が「令和5年度おおさか環境賞」の事業者活動部門において大賞を受賞いたしました。加えて農林水産省主催の第8回食育活動表彰において、「ライフ出前授業・親子食育体験学習」の活動が「消費・安全局長賞」を受賞いたしました。

新規店舗としては、3月に池袋三丁目店（東京都）、ビオラルみのおキューズモール店（大阪府）、ビオラル国立駅前店（東京都）、4月にソコラ所沢店（埼玉県）、5月に目黒八雲店（東京都）、6月に松ヶ崎店（京都府）、7月に吉祥寺駅前店（東京都）、8月に芦屋呉川町店（兵庫県）を出店し、2店舗を閉店いたしました。既存店舗では、西九条店で、手作りパンコーナー「小麦の郷」や医薬品コーナーの新規導入等品揃えを拡充、南津守店で「BIO-RAL（ビオラル）」商品や冷凍食品・惣菜等の品揃えを拡充する改装を行いました。

当社グループの業績と今後

当社グループの業績におきましては、新規出店、ネットスーパーの拡大、「BIO-RAL（ビオラル）」等のプライベート

ブランド商品の強化、鮮度・おいしさを追求した商品施策等を実施した結果、営業収益は4,218億85百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

一方、販管費は、カイゼン活動による生産性の向上、コスト最適化の取り組み等を推進しましたが、新規出店に伴う賃借料等の各種物件費の増加に加え、人への投資・処遇改善等に伴い人件費も増加したため、営業利益は122億32百万円（前年同期比1.4%減）、経常利益は127億6百万円（前年同期比1.1%減）となりました。なお、特別損失が減少したため、親会社株主に帰属する中間純利益は89億14百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

なお、部門別売上高は、生鮮食品部門が1,767億86百万円（前年同期比5.9%増）、一般食品部門1,832億96百万円（前年同期比5.6%増）、生活関連用品部門346億52百万円（前年同期比3.3%増）、衣料品部門114億63百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

また、株式会社ライフフィナンシャルサービスの営業収益は14億20百万円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益は1億80百万円（前年同期比13.0%減）となりました。

小売業界におきましては、金融資産の増加、賃金の上昇等が消費の下支えになるものの、物価高、人手不足の深刻化等、依然厳しい状況にあり、ドラッグ業態の食品拡大、ディスカウント業態の勢力拡大、ネット通販大手を含む業態を超えた生鮮食品分野への進出等、業界内の動きは激しくなっております。

このような厳しい環境の中、よりお客様に信頼される地域一番店を実現するために、さらなる飛躍に向け、2030年度に当社が目指す姿を見据えて、経営理念・ビジョン・ライフらしさ宣言の実現に向け2023年度よりスタートした「第七次中期経営計画」を推進しております。

今後とも株主の皆様には変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

新規出店 NEW!

8店舗を新規出店

上期は3月に池袋三丁目店、ビオラルみのおキューズモール店、ビオラル国立駅前店、4月にソコラ所沢店、5月に目黒八雲店、6月に松ヶ崎店、7月に吉祥寺駅前店、8月に芦屋呉川町店を新規出店いたしました。

NEW!
1

ビオラルみのおキューズモール店

大阪府箕面市(2024年3月 開店)

2024年3月に延伸開業した北大阪急行電鉄箕面萱野駅に隣接する商業施設「みのおキューズモール STATION1棟」内にオープンいたしました。健康志向の高まりや安全・安心のニーズにお応えし、環境への負荷軽減を実現するため、「BIO-RAL(ビオラル)」近畿圏3号店として北摂エリアに初出店いたしました。

箕面市周辺は、小さなお子様がいらっしゃるファミリー世帯やペットを飼われているご家庭が多い地域です。ご家族やお子様の健康を気遣われるお客様へナチュラルライフスタイルをご提案し、心と体の健康と豊かな毎日をお手伝いしてまいります。



NEW!
2

ソコラ所沢店

埼玉県所沢市(2024年4月 開店)

2018年6月に埼玉県蕨市に「ライフ蕨駅前店」がオープンしてから6年ぶりに埼玉県に出店いたしました。

埼玉ならではの魅力が詰まったこだわり商品が並ぶコーナーや、「オーガニック・ローカル・ヘルシー・サステナビリティ」をコンセプトとしたライフでしか買えない「BIO-RAL(ビオラル)」商品、味にこだわったオリジナル商品や惣菜など、ライフの最新コーナーが揃った、埼玉とライフの魅力あふれる品揃えを展開いたします。



大盛況の開店日でした!

NEW!
3

吉祥寺駅前店

東京都武蔵野市(2024年7月 開店)

駅周辺は商業施設や大きな公園があり、緑が多く自然も豊かであることから、住みたい街ランキングで常に上位の吉祥寺。2020年7月に「ライフ吉祥寺駅前店」が閉店し、同じ場所に建設されたビルの1・2階に「ライフ吉祥寺駅前店」として4年ぶりに帰ってきました。以前の店舗と比べ売り場面積が約1.5倍に増え、水産・食料品売り場が拡大、新たにインスタペーカリー「小麦の郷」を導入し、お客様のご要望にお応えできるよう品揃えを拡大いたしました。



既存店舗の改装 RENEWAL!

大型改装を2店舗実施

上期は5月に南津守店、7月に西九条店を改装し、店舗の活性化を図りました。

RENEWAL!
1

南津守店

大阪府大阪市(2024年5月 改装)

食料品・日用品・衣料品が揃う大阪市内南西部の旗艦店で、シニア層やファミリー層のお客様に多くご来店いただいております。大型駐車場を完備しており、お車でのアクセスが良好な店舗です。

時短・簡便ニーズにお応えするため、保存に便利な冷凍食品や店内手作りの惣菜・パンの品揃えを強化いたしました。また、健康に配慮したこだわり商品をご用意するほか、2階のファッションとくらしのフロアも内装を一新し、ワンストップショッピングを実現いたしました。



RENEWAL!
2

西九条店

大阪府大阪市(2024年7月 改装)

此花区の東部は住宅街が広がり、西部はテーマパークの来訪者でにぎわう地域です。「西九条」駅には、JR・阪神線など複数の路線が乗り入れ、その利便性から20~30代の方に人気のエリアです。

お客様よりご要望をいただいております手作りパンコーナー「小麦の郷」を新規導入し、自慢の手作りパンを種類豊富に品揃えいたしました。また、1階の冷蔵ケース・商品棚をリニューアルし、コンパクトながら豊富な品揃えを実現いたしました。さらに、2階に「医薬品コーナー」を新設し、生活に必要な物がすべて揃う便利なお店になりました。



人権方針制定のお知らせ

人権尊重の取り組みをグループ全体で推進するため、「人権方針」を制定いたしました。

本方針は、『志の高い信頼の経営』を通じて持続可能で豊かな社会の実現に貢献する」という当社経営理念のもと、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に則り、国連「国際人権章典」、国際労働機関（ILO）「労働における基本的原則及び権利に関する宣言」などの人権に関する国際規範に基づき、当社グループに関わる全ての人々の人権と尊厳を守るために、私たちがとるべき行動を定めたものです。

本方針に基づき人権尊重の取り組みをさらに強化することで、引き続き持続可能で豊かな社会の実現と企業価値の向上に努めてまいります。

人権に関する重点テーマ

私たちは、地域密着のスーパーマーケット事業を中心としたグループとして、以下のテーマへの取り組みが人権尊重の観点から特に重要であると考えています。

(1) 多様性の尊重、差別の排除

異なる文化や考え方、性別・年齢など個々人の多様性を尊重し、あらゆる差別を排除します。

(2) 適切な労働環境

安全・衛生基準が満たされ、不当な労働やハラスメントのない、心身ともに健康で安心して働ける職場環境をつくります。

人権方針(全文)は以下URLをご参照ください。

<http://www.lifecorp.jp/vc-files/pdf/company/20240531jinken.pdf>

サステナビリティ

近畿圏・首都圏の20店舗で約10tの古布・衣料品を回収、再利用

衣料品販売者としての責任を果たすため、自社事業に関連が深い社会貢献活動として、着る機会がなくなった衣料品の回収を実施いたしました。お客様からお持ちいただいた古布は、古着としてリユースされるほか、車の内装に使う防音材やいすなどのクッション部分の中身、工業用のウエスなどにリサイクルされます。また、衣料品回収によって発生した収益金の全額を地域の子ども食堂支援のために活用しております。

ご協力いただいたお客様からも好意的なご感想をいただきました。引き続き衣料品回収を実施することで、持続可能で豊かな社会の実現に貢献してまいります。

実施店舗数（現在回収が終了している店舗を含む）	首都圏：5店舗 近畿圏：15店舗
回収実績（2024年上期）	首都圏：2.1 t 近畿圏：8.4 t



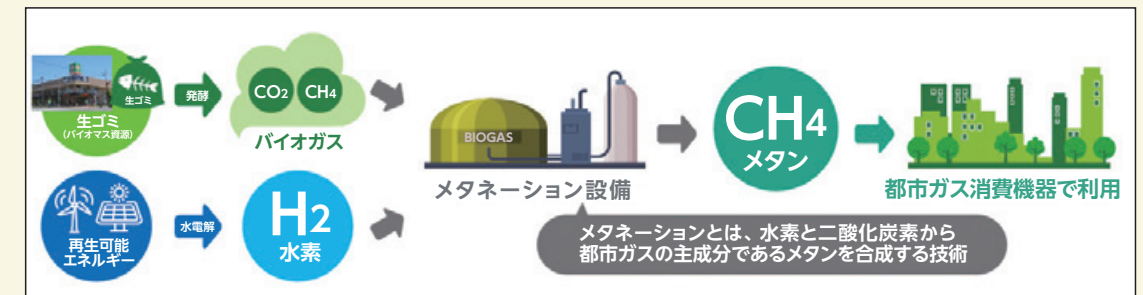
サステナビリティ



店舗から出る食品残さを再利用 大阪・関西万博で活用するメタネーションの実証実験設備の竣工式に参加

大阪市や大阪広域環境施設組合の協力のもと、大阪ガス株式会社が実施する「再生可能エネルギー由来の水素と、生ごみを発酵させて製造したバイオガスをメタネーションし、都市ガス機器で利用するサプライチェーン構築・実証事業」に、店舗より排出される生ごみ（バイオマス資源）を1t/日提供し、食品廃棄物の削減を実現いたします。当社は、5月17日に大阪広域環境施設組合が運営管理するごみ焼却工場の敷地内にて、メタネーション実証実験設備の竣工式に参加いたしました。

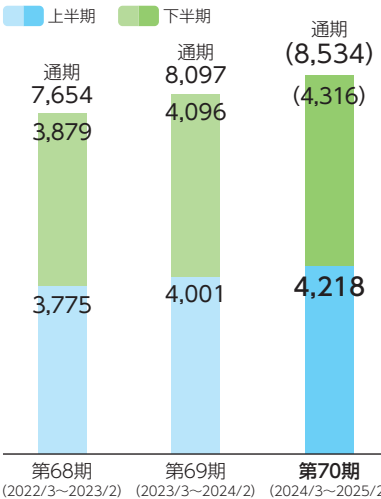
同工場での実証後、このメタネーション設備は大阪・関西万博会場に移設され、会場内で発生する生ごみ由来のバイオガスからメタンを製造し利用予定です。当社は持続可能で豊かな社会の実現に貢献するため、環境負荷低減への取り組みを今後も推進してまいります。



連結決算の概要

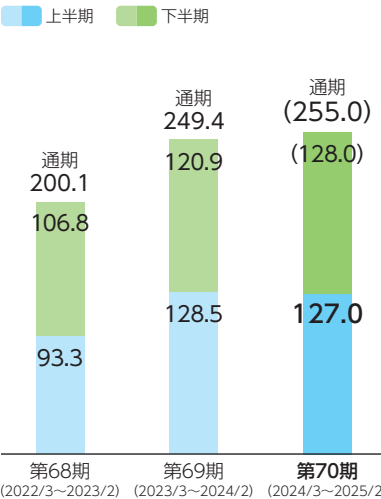
営業収益の推移

単位:億円 ()内は予想 ※1億円未満切り捨て



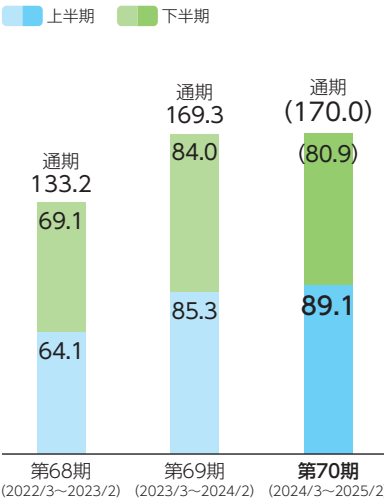
経常利益の推移

単位:億円 ()内は予想 ※1千万円未満切り捨て



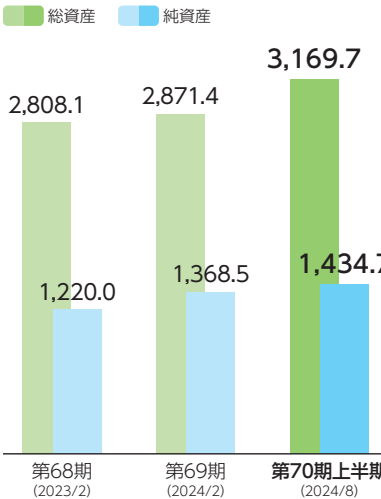
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益の推移

単位:億円 ()内は予想 ※1千万円未満切り捨て



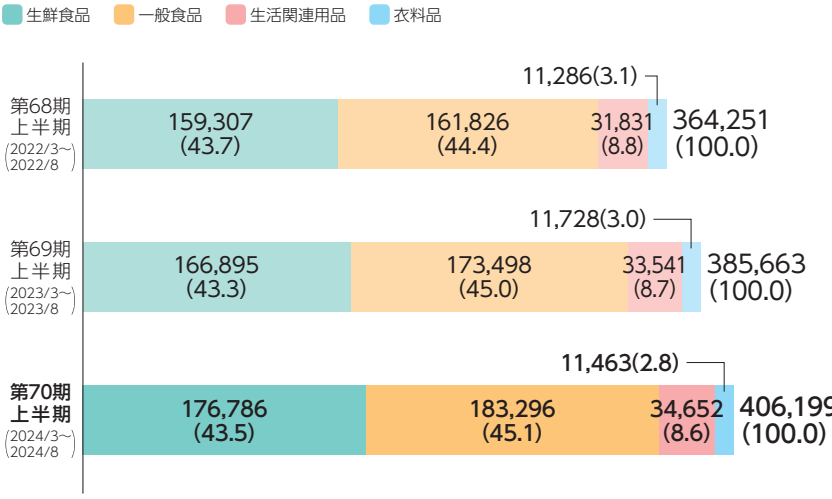
総資産・純資産の推移

単位:億円 ※1千万円未満切り捨て



部門別売上高の推移

単位:百万円 ()内は構成比率% ※百万円未満切り捨て



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位:百万円

	当中間 連結会計期間末 2024年8月31日現在	前連結会計年度末 2024年2月29日現在
資産の部		
流動資産	111,201	82,849
固定資産	205,770	204,297
有形固定資産	158,025	156,315
無形固定資産	5,488	5,484
投資その他の資産	42,256	42,497
資産合計	316,971	287,146
負債の部		
流動負債	143,921	118,219
固定負債	29,577	32,071
負債合計	173,498	150,290
純資産の部		
株主資本	140,993	134,430
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	5,696	5,696
利益剰余金	129,124	122,560
自己株式	△ 3,831	△ 3,831
その他の包括利益累計額	2,479	2,425
その他有価証券評価差額金	1,031	881
土地再評価差額金	△ 1,154	△ 1,154
退職給付に係る調整累計額	2,603	2,698
純資産合計	143,473	136,855
負債純資産合計	316,971	287,146

連結損益計算書

単位:百万円

	当中間 連結会計期間 2024年3月 1日から 2024年8月31日まで	前中間 連結会計期間 2023年3月 1日から 2023年8月31日まで
売上高	406,199	385,663
売上原価	281,610	265,804
売上総利益	124,588	119,858
営業収入	15,686	14,484
営業総利益	140,275	134,343
販売費及び一般管理費	128,043	121,932
営業利益	12,232	12,410
営業外収益	608	564
営業外費用	134	123
経常利益	12,706	12,851
特別利益	50	—
特別損失	24	264
税金等調整前中間純利益	12,731	12,587
法人税、住民税及び事業税	3,647	4,067
法人税等調整額	170	△ 14
法人税等合計	3,817	4,052
中間純利益	8,914	8,534
親会社株主に帰属する中間純利益	8,914	8,534

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	当中間 連結会計期間 2024年3月 1日から 2024年8月31日まで	前中間 連結会計期間 2023年3月 1日から 2023年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,447	28,517
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,347	△ 8,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 25,733	△ 21,599
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	20,366	△ 1,639
現金及び現金同等物の期首残高	8,206	9,327
現金及び現金同等物の中間期末残高	28,573	7,687

(注) 連結財務諸表の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

店舗一覧

近畿圏

大阪府 126店舗

豊中店	福泉店	庄内店	天神橋店	セントラルスクエア	玉出東店
塚本店	門真店	ビオラル韌店	太平寺店	西宮原店	Miniel西本町店
岡町店	横堤店	喜連瓜破店	三津屋店	京橋店	安田諸口店
桃山台店	江口店	吹田泉町店	セントラルスクエア	堺駅前店	箕面桜ヶ丘店
北野田店	守口寺方店	新深江店	なんば店	玉造店	中崎町駅前店
高石店	深江橋店	服部店	下寺店	セントラルスクエア	朝潮橋駅前店
豊里店	十三東店	野田店	出屋敷店	北畠店	ビオラルエキマルシェ
城山台店	四天王寺店	志紀店	石津店	清水谷店	大阪店
恵我之荘店	長居店	此花伝法店	西天下茶屋店	セントラルスクエア	セブンパーク
国分店	玉串店	寝屋川店	岸部店	森ノ宮店	天美店
出来島店	住吉店	牧野店	加賀屋店	高殿店	枚方T-SITE店
滝谷店	都島高倉店	高槻城西店	久宝寺駅前店	羽曳野西浦店	守口滝井店
御崎店	生野林寺店	大仙店	土佐堀店	東淡路店	花園中央公園店
翼店	八尾竹濑店	豊津店	大淀中店	阿波座駅前店	初芝店
平野西脇店	菱江店	西大橋店	弁天町店	堺筋本町店	セントラルスクエア
今里店	南津守店	香里園店	あびこ店	旭大宮店	ららぽーと門真店
杭全店	崇禅寺店	新石切店	西田辺店	堂島大橋店	桜ノ宮店
八尾店	本庄店	なかもず店	塩草店	寺田町駅前店	★ビオラルみのお
和泉大宮店	御殿山店	毛馬店	太融寺店	八戸ノ里店	キューズモール店
高井田店	正雀店	三国橋店	東大阪長田店	鶴見今津北店	
泉尾店	新北島店	西九条店	昭和町駅前店	西淡路店	
百舌鳥店	歌島店	寝屋川黒原店	緑橋店	住吉山之内店	
箕面店	関日店	大国町店	御幣島店	空堀店	

兵庫県 20店舗

甲子園店	本山店
武庫川店	春日野道店
福崎店	下山手店
御影店	須磨鷹取店
尼崎大西店	西宮北口店
浜甲子園店	夙川店
西代店	阪神鳴尾店
神戸駅前店	宝塚中山寺店
長田店	阪神芦屋店
今津駅前店	★芦屋呉川町店

京都府 19店舗

寺田店	二条駅前店
男山店	北白川店
壬生店	セントラルスクエア
西京極店	西大路花屋町店
太秦店	川端東一条店
伏見深草店	智恵光院店
西七条店	四条烏丸店
梅津店	堀川北山店
宝ヶ池店	四条大宮店
西陣店	★松ヶ崎店

奈良県 3店舗

御所店
大淀店
トナリエ大和高田店

168店舗

(2024年8月31日現在)

首都圏

東京都 99店舗

板橋店	船堀店	大崎百反通店	ココネリ練馬駅前店	コモレ四谷店
仲宿店	前野町店	大森中店	ポンテポルタ千住店	ビオラル丸井吉祥寺店
笹塚店	北赤羽店	扇大橋駅前店	東五反田店	東日暮里店
南台店	東尾久店	江北駅前店	錦糸町駅前店	本郷三丁目駅前店
竹の塚店	渋谷東店	大谷田店	新御徒町店	ビオラル下北沢駅前店
中目黒店	中野駅前店	奥戸店	品川御殿山店	セントラルスクエア
瑞江店	浅草店	神田和泉町店	セントラルスクエア	恵比寿ガーデンプレイス店
篠崎店	武蔵小山店	南千住店	押上駅前店	カメイドクロック店
鹿骨店	千川駅前店	奥戸街道店	京急蒲田駅前店	ビオラル新宿マルイ店
西大泉店	石神井公園店	大崎ニューシティ店	西小岩店	西荻窪店
府中中河原店	東向島店	葛飾白鳥店	東砂店	豊洲店
深川猿江店	東中野店	菊川店	鵜の木店	市谷薬王寺店
平和台店	アクトピア北赤羽店	落合南長崎駅前店	キテラタウン調布店	ビオラルパルコヤ上野店
土支田店	千歳烏山店	練馬中村北店	氷川台店	梅島駅前店
葛飾鎌倉店	石神井台店	目黒大橋店	東馬込店	ビオラル有明ガーデン店
中野新井店	水元店	上池台店	東府中店	勝どきミッド店
大森南店	亀戸店	西蒲田店	マチノマ大森店	下目黒店
新大塚店	幡ヶ谷店	中野坂上店	ムスブ田町店	★池袋三丁目店
経堂店	大泉学園駅前店	若松河田駅前店	桜新町店	★ビオラル国立駅前店
赤塚店	六町駅前店	新桜台駅前店	本一色店	★目黒八雲店

埼玉県 8店舗

北越谷店	吉川栄町店
指扇店	蕨駅前店
吉川駅前店	★ソコラ所沢店
新座店	
さいたま新都心店	

神奈川県 31店舗

東有馬店	希望が丘店	宮内二丁目店
鶴見店	川崎京町店	戸塚汲沢店
高津新作店	相模原モール店	有馬五丁目店
川崎桜本店	相模原若松店	川崎大島店
川崎御幸店	大倉山店	鶴見下野谷町店
大口店	子母口店	青葉しらとり台店
宿河原店	相模大野駅前店	川崎ルフロン店
相模原駅ビル店	中原井田店	グランシップ大船駅前店
向ヶ丘遊園店	上鶴間店	溝口店
鎌倉大船モール店	宮崎台店	ピエラ蒔田店

(順不同)

合計
311店舗

(注) ★印の店舗は、2024年度新規出店であります。

会社情報

会社概要 (2024年8月31日現在)

商号	株式会社ライフコーポレーション LIFE CORPORATION
創業	1910年
設立	1956年10月24日
資本金	10,004,000,000円
従業員の状況 (単体)	人数:7,467名 平均年齢:40.7歳 平均勤続年数:15.2年
本店及び本社	本店 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原二丁目2番22号 電話(06)6150-6111(代) 東京本社 〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番3号 電話(03)6717-2500(代)
グループ会社	株式会社ライフフィナンシャルサービス (クレジットカード、電子マネー事業)
役員一覧	※取締役社長執行役員 岩崎高治 取締役専務執行役員 森下留寿 取締役常務執行役員 角野喬 取締役執行役員 足立純 社外取締役 河野宏子 社外取締役 片山隆 社外取締役 多田明弘 取締役(常勤監査等委員) 末吉薫一 社外取締役(監査等委員) 成田恒一 社外取締役(監査等委員) 宮竹直子 社外取締役(監査等委員) 水戸重之

(注) ※は、代表取締役であります。

株式情報

●株式の状況

(2024年8月31日現在)

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	49,450,800株
株主数	8,010名

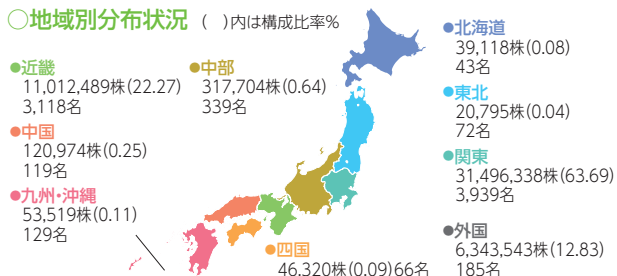
●大株主

株主名	持株数(株)
三菱商事株式会社	10,562,500
清信興産株式会社	5,382,000
公益財団法人ライフスポーツ財団	3,229,200
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,161,600
ライフ共栄会	2,350,312
三井住友信託銀行株式会社	2,264,000
農林中央金庫	1,400,276
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	971,400
住友生命保険相互会社	737,000

●所有者別分布状況

所有者	株主数(名)	株式数(株)	構成比率(%)
金融機関	25	10,058,426	20.34
証券会社	25	624,494	1.26
その他の国内法人	328	24,116,520	48.77
外国法人等	223	6,464,075	13.07
個人・その他	7,408	5,748,159	11.63
自己株式	1	2,439,126	4.93
合 計	8,010	49,450,800	100.00

●地域別分布状況 ()内は構成比率%



単元未満株式の買取請求のご案内

単元未満株式の買取請求とは、1単元(100株)未満の当社株式を、株主様が当社に対して時価で売却することができる制度です。1単元(100株)未満の株式は証券取引市場で売買していただくことができません。

単元未満株式の買取に関する手続き

- 1 証券会社に口座を開設されている株主様
証券会社の口座に記録していない単元未満株式は、当社が三井住友信託銀行株式会社に開設をした特別口座に記録されておりますので、上記「株主メモ」欄の電話照会先にお問い合わせください。
- 2 証券会社に口座を開設されていない株主様
証券会社に口座を開設されていない単元未満株式は、当社が三井住友信託銀行株式会社に開設をした特別口座に記録されておりますので、上記「株主メモ」欄の電話照会先にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 5月

基準日	定時株主総会 2月 末日	※その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
	期末配当金 2月 末日	
	中間配当金 8月31日	

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関
株主名簿管理人
事務取扱場所
(郵便物送付先)

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

☎0120-782-031
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

(インターネット
ホームページURL)

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告方法

電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告いたします。

[公告掲載URL] <http://www.lifecorp.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

単元株式数 100株

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についての住所変更等のお届出及びご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページのご案内

当社ホームページでは財務情報のほかにも、お店のチラシやネットショップ、ネットスーパーなどのお買い得商品のご紹介、お料理レシピや社会・環境活動報告書をご覧いただけます。ぜひご利用ください。



<http://www.lifecorp.jp/>